　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（作成日）　　　　年　　月　　日

**ＡＤＨＤ傾向の**

　　　【通常の学級用】　個別の教育支援計画・個別の指導計画シート　（簡易版１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ◇◇学校　　　年　　組 | 担任名 | ○○○○  合理的配慮実践事例集（Ｈ29長野県教育委員会）  P165～ |
| 氏名（フリガナ） | （　　　　　）  男・女 | | 生年月日  　　　年　　月　　　日　　歳 |
| 保護者氏名 |  | 連絡先： | |
| 諸検査結果 | ＷＩＳＣ－Ⅳ等  ＦＩＱ　ＶＲＩ　ＰＲＩ　・・・ | 実態把握のためのチェックシートから  　言葉・文字　操作・動きの苦手 | |
| 相談機関  諸検査,相談機関との連携がある場合には,記載する。 | なし | 診断名と各機関の支援  診断名や各機関との連携がなくても,児童・生徒の実態を記載する。  なし   1. 見通しがもちにくい。 2. 手順表があると落ち着いて取り組む   そわそわし始めたら,声をかけて困っていることを聞く。 | |
| 必要な支援  （支援会議） | 見通しがもてるように配慮する。  ・手順表を示す　　　・終わりの時間を明確にする | | |

指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指導場面 | めあて | 支援内容 | 評　価 |
| 授業中 | 授業で取り組むことに見通しをもって,授業の終わりまで参加できる。 | ・本時で取り組む内容を順番にホワイトボードに記載し,授業の始めに確認をする。  ・やることが分からない時は,すぐに教師に聞くことを約束する。 | ホワイトボードの手順表を声に出しながら確認した。分からないことはすぐに質問し,落ち着いて授業に取り組む姿が増えている。 |
| 児童会 |  |  | その子の姿だけでなく支援の有効性についても評価する。 |
| 宿題 |  | 教科学習,宿題,テスト,生徒会,部活など指導の場面ごとに記入する。  校内の関わる職員すべてが,支援や配慮する点について記入する。 |  |
| 全体を通して行う支援  ・本児にやってほしいことを伝えるときは,紙に書いたり,手順表に示したりして伝える。  ・やることが分からなくて困っているときには,声をかけたり,何に困っているか話を聞いた後に具体的で端的にやることを伝えたりする。 | | | |

このシートは,**通常の学級に在籍し,校外の支援も一部受けているが,支援が比較的少ない児童生徒の支援計画と指導計画を同時に立てるシートです。**校内委員会や支援会議等で決まったことを書いていき,関係者で共有しましょう。（保護者も入り定期的に会議が開催されているような児童生徒については,通常の形式のものを作成しましょう）